

# 収穫適期は早まる見込み！

## （籾の黄化を確認し、適期に収穫を！）

- ・コシヒカリの出穂期は平年に比べ2日程度早く（8月5日頃）、収穫適期も平年に比べ5日程度早まる見込みです。
- ・気象予報では、向こう1か月の気温が「高い」となっています。（8/17新潟地方気象台発表の1か月予報より）

### 1. コシヒカリの収穫開始予想日（8月22日現在）

出穂期		収穫めやすまでの積算気温 （本年）	収穫めやすに達する予定日 （アメダス地点別）	
			相川	羽茂
5/5 田植	8月4日	950℃	9月8日	9月8日
5/10 田植	8月6日		9月10日	9月11日

※日平均気温の積算から予想。8月23日以降は平年値を使用。

※今後の天候や栽培条件で期日は変動するため、収穫計画の参考とする。

### 2. 収穫までの管理ポイント

- (1) 降雨が少なく下葉の枯れ上りが早まり、登熟低下のおそれがあるため、出穂25日後までは、稲に必要な水分を補給するためにかん水を行う。（根を傷めないよう長期の深水・湛水は避ける）
- (2) 今年は高温登熟年にあたり、基部未熟や胴割粒の多発生が懸念されるので、収穫開始までの積算温度のめやすを通常より50℃（2日程度）早め、刈り遅れないようにする。
- (3) 上表を参考に収穫計画をたてて穂の籾黄化率80%を目安に収穫を始める。茎葉の色は考慮せず、必ず籾黄化程度で判断する。
- (4) 穂ぞろいが悪いほ場では、遅い穂の登熟を待つと刈り遅れになるため、登熟が中くらいの穂を基準に収穫時期を判断する。
- (5) 早生品種や出穂の早いコシヒカリは、登熟前半の高温で胴割粒が発生しやすい状況のため、刈り遅れに注意する。
- (6) 成熟期頃にフェーン等で急に水分低下する場合は、胴割粒が急増するので、籾黄化率80%を目安に早めに収穫する。また、乾燥調製作業も慎重に行なう。